

製品名: FGL1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82462**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | IHC,ICC,ELISA,FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG2a |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量 | 36.4kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | FGL1 |
| 別名 | HPS; HFREP1; HP-041; LFIRE1; LFIRE-1 |
| 遺伝子 ID | 2267.0 |
| SwissProt ID | Q08830 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト FGL1 (AA: 23-312) の精製された組み換え断片。 |

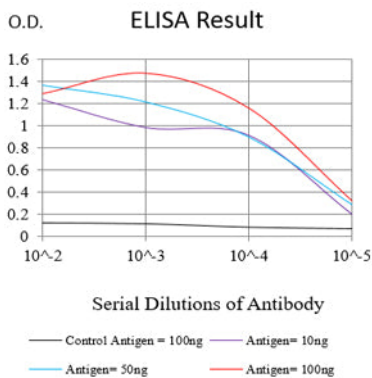
背景

フィブリノゲン様タンパク質 1 はフィブリノゲンファミリーの一員です。このタンパク質は、フィブリノゲン β および γ サブユニットのカルボキシ末端に相同性を有し、フィブリノゲンおよびフィブリノゲン関連タンパク質の 4 つの保存されたシステインを含んで

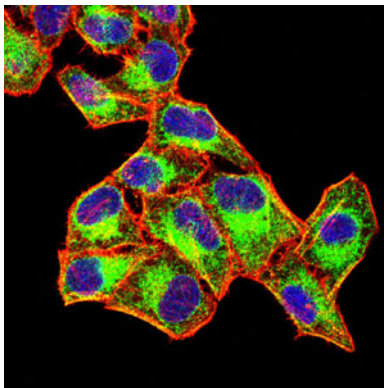
います。しかし、このタンパク質は、フィブリン血栓形成に必要な血小板結合部位、架橋領域、およびトロンビン感受性部位を欠いています。このタンパク質は、肝細胞癌の発生に関与している可能性があります。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする4つの選択的スプライシング転写バリエーションが存在します。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

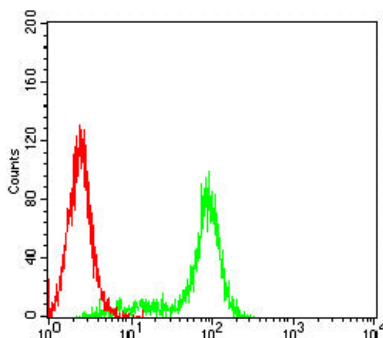
画像データ



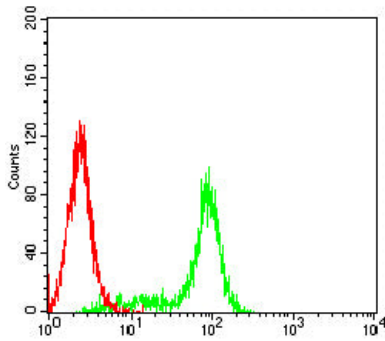
黒線：コントロール抗原 (100 ng) 紫線：抗原 (10 ng) 青線：抗原 (50 ng) 赤線：抗原 (100 ng)



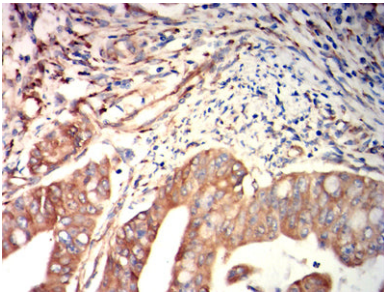
FGL1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青：DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤：Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



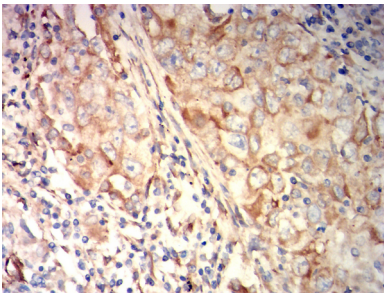
FGL1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



FGL1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による FGL1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による FGL1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。